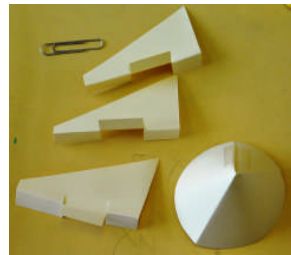


傘袋の飛行物体（ロケットタイプ）



1. 材料と道具

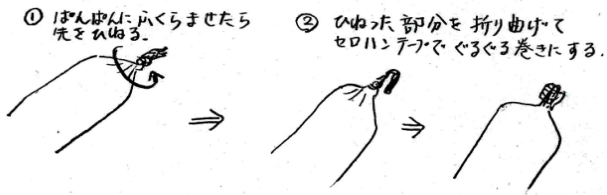
- 傘袋（お店の入り口でもらうようなもの。DIY店でも、200枚が数百円で販売されています。）
- ケント紙（使用済みのハガキでOK。画用紙でも可）
- ゼムクリップ（5こぐらい・ロケットタイプは不要）
- セロハンテープ
- はさみ
- フェルトペン



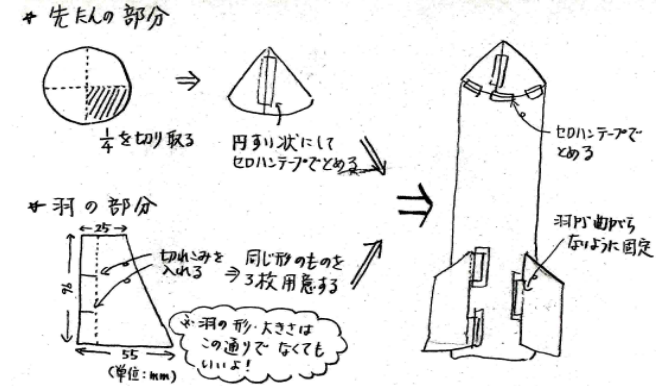
2. 作り方

① 傘袋に空気をいっぱいに入れ、口を閉じる。

★ 空気がもれぬようにするコツ！



② 円錐形の風よけを先端部分に取り付け、後部に三角形の羽を取り付けます。



※絵は、最初に描いておくほうがよいようです。

3. 遊び方

- ① 片手で頭にかざすような感じで持ち、ちょっとだけ上向きにして投げます。（やり投げの要領です。）
- ② 羽の位置や、おもりの数を変えてもいいですよ。

4. 科学研究として

かつては、理科の教科書にも「グライダー」がりましたが、現在はなくなっています。グライダーでは、おもりの重さ、重心の位置や羽の位置、形のちがいによって、飛び方がどのように変わるかを調べて、どのようにしたらよく飛ぶようになるかを考えていました。

ロケットなどの飛行物体は、良く飛んだ時の爽快感が何とも言えないものがあります。「遊び方」の項でも書きましたが、本体の長さやおもりの数、羽の位置や形、大きさなどをいろいろと変えて、何回も飛ばしてみることをおすすめします。また、実物の飛行機やロケットの写真と見比べて、形状を調べてみるのもおもしろいですね。